

## 平成30年度 第7回豊南地域会議 会議録

- 日 時 平成30年9月20日(木) 午後6時30分～午後8時45分
- 場 所 豊南交流館 1階 大会議室
- 出席者 <委員>市川 繁 奥村 学 片桐 弘 鷹見 喜仲  
瀧上 久 橋 寿一 内藤 正康 西口 武彦  
林田 賢士 堀 恵子 松岡 ミネ子 三尾 良介  
宮川 尚子 山内 悟 吉森 則雄  
<欠席者>坂田 一浩 杉浦 百恵 三浦 智  
<交流館>梶 いづみ (豊南交流館長)  
<事務局>小澤 都司子 (拳母事務所長兼地域支援課長)  
中根 裕之 (地域支援課副課長)  
梅村 剛 (地域支援課担当長)  
勝上 奈津希 (地域支援課主事)

### ■次 第 開 会

豊田市民の誓い唱和

会長あいさつ

1 前回の振り返り

2 地域予算提案事業について

(1) 平成31年度事業についての意見交換会ふりかえり

(2) 平成31年度地域予算提案事業(防災)について

(3) 平成31年度地域予算提案事業(交通安全)について

(4) 平成30年度豊南ふれあい祭での地域会議ブースについて

閉 会

### ■議 事(要約)

1 前回の振り返り

前回地域会議での協議内容を確認。

2 地域予算提案事業について

(1) 平成31年度事業についての意見交換会ふりかえり

◆ 各グループの発表に対する補足等

【Aグループ】

- ・最近の耐震性が高い家屋は地震によって倒壊する可能性が低く、避難するタイミングが難しいという話題もあった。
- ・そもそも自分の家の耐震性を知らない人も多いのではないかという意見もあった。

#### 【Bグループ】

- ・家具の転倒防止について、狭い家だと家具固定や転倒防止に配慮した家具の配置が難しいという意見があった。
- ・隣近所と普段から助け合える関係性を作る必要があるという意見が多かった。
- ・地震に伴う火災について話題にならなかったことは少し疑問に感じる。

#### 【Cグループ】

- ・高齢者、障がい者に対する備えとしては、福祉的な役割を持つ避難所の設置についても話題になった。
- ・絵を使って説明できるツールがあると、子どもだけでなく高齢者、障がい者、外国人等とのコミュニケーションにも役立つのではないかという意見があった。
- ・避難所運営組織は、事前にある程度準備が必要だという意見があった。
- ・避難所となる建物の鍵は、複数の人がもっているべきであるという意見があった。

#### 【Dグループ】

- ・発電機の必要性に関しても話題になった。
- ・避難所でリーダーとなる住民の養成が必要ではないかという意見があった。

#### 【Eグループ】

- ・避難者の個人情報については、各個人で事前に準備してもらい、避難時に持ってきてもらうことが重要であるという意見が多かった。
- ・具体的な取組を行うには自治区との連携が必要であるという意見があった。
- ・避難所運営組織の事前準備についても重要と考えている人が多かった。
- ・今後の地域会議での取組を、自治区の組織が変わるときにしっかり引き継ぐ必要があるという意見があった。
- ・自治区に加入していない人に対するフォローも課題として上がった。

#### 【Fグループ】

- ・中高生や若者に対し、イヤホンをしながら自転車を運転していることがあるため、危険に感じるという意見があった。
- ・道路上の自転車通行位置表示について、狭い道路では通行するとかえって危険を感じる箇所もあるため、子どもに通るように勧められないという意見があった。
- ・地域会議で昨年度設置した横断旗の管理についても話題になった。

#### 【Gグループ】

- ・免許更新時の高齢者講習の対象ではない65歳～74歳の年齢層でも、自分の運転能力について見直す機会が必要だという意見があった。
- ・高齢者に対し、夜間は車に発見されやすい服装で歩いてほしい、横断歩道のない場所を横断している人がいて危険を感じる等の意見があった。

#### (2) 平成31年度地域予算提案事業（防災）について

防災をテーマとした新規事業の全体計画、平成31年度詳細について、8月28日（火）に開催した防災事業検討部会での検討内容を報告後、協議。

◆ 主な意見等

【全体計画について】

- ・ステップ2にあるマニュアル作成は、地域会議だけでは作りきれないと思うので、地域のことをよく知っており、災害に関する知識を持っている人（専門家、防災士の資格保持者等）がいれば、協力してもらえると良いと思う。
- ・マニュアル作成の協議は部会に分かれて進める必要があると思う。
- ・地域会議で考えた方策は自治区が中心となって実行するので、自治区には進捗を随時報告し、理解を得ながら進められると良いと思う。

【平成31年度事業詳細について】

- ・実習的な取組があると平常時の備えの重要性を理解してもらいやすいのではないか。
- ・ステップ3の部分で取り組めると良いと思う。
- ・啓発だけでなく、実際に住民が実行に移しやすいような支援策が必要ではないか。
- ・住民が自助意識を持って自主的に取り組むことが重要なので、やらせる、やってあげるような取組では意味がないと思う。
- ・地域会議だよりでの情報提供、講習会での紹介で支援できることもある。
- ・それぞれの取組で、実用性を持たせる工夫が必要ではないか。

◆ 決定事項

- ・全体計画については案のとおりとする。
- ・平成31年度事業詳細については、地域会議だよりについて印刷製本費の計上を検討する。

(3) 平成31年度地域予算提案事業（交通安全）について

交通安全をテーマとした継続事業の目標、平成31年度事業詳細について協議。

◆ 主な意見等

【目標（事業指標）について】

- ・子ども、高齢者ともに平成29年度の負傷者数が平成28年度と比べて約半減しているが、どんな事故が減ったのかわかると良い。
- ・限られた件数に対して、どのようなアプローチが有効かを検討するべきだと思う。
- ・取組の達成度を目標として追加してはどうか。
- ・取組の目的を考えると、各取組の参加者にアンケートを取り、意識の向上の度合いを目標とするべきだと思う。

【平成31年度事業詳細について】

- ・自治区の行事や講座と連携した啓発も取組として追加してはどうか。
- ・自治区行事等に参加しない人に対する啓発も今後課題になると思う。

◆ 決定事項

- ・意識の向上割合を指標として設定する。
- ・自治区の行事や講座と連携した啓発を取組として追加する。

(4) 平成30年度豊南ふれあい祭での地域会議ブースについて  
前日、当日の役割分担を決定。

(終了)

次回開催日 平成30年10月18日(木) 午後6時30分から 豊南交流館